

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【公開番号】特開 2011-74301 (P2011-74301A)

【公開日】平成 23 年 4 月 14 日 (2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報 2011-015

【出願番号】特願 2009-229362 (P2009-229362)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/40 (2006.01)

C 0 8 K 7/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 67/00

C 0 8 K 3/40

C 0 8 K 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 27 日 (2012.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

すなわち本発明は、

1 . (A) 液晶性ポリエステル樹脂 1 0 0 重量部に対して、(B) 微細ガラスフレークを 5 ~ 5 0 重量部を含み、使用される微細ガラスフレークの数平均粒子径が 5 ~ 5 0 μ m であり、アスペクト比が 1 0 0 以下である液晶性ポリエステル樹脂組成物、

2 . 微細ガラスフレークの厚みが 0 . 1 ~ 3 μ m である (1) に記載の液晶性ポリエステル樹脂組成物、

3 . さらに (A) 液晶性ポリエステル樹脂 1 0 0 重量部に対し (C) 繊維状無機充填材を 5 ~ 5 0 重量部含むことを特徴とする (1) 、(2) のいずれか 1 つに記載の液晶性ポリエステル樹脂組成物、

4 . レーザー溶着用樹脂である (1) ~ (3) のいずれか 1 つに記載の液晶性ポリエステル樹脂組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 液晶性ポリエステル樹脂 1 0 0 重量部に対して、(B) 微細ガラスフレークを 5 ~ 5 0 重量部を含み、使用される微細ガラスフレークの数平均粒子径が 5 ~ 5 0 μ m であり、アスペクト比が 1 0 0 以下である液晶性ポリエステル樹脂組成物。

【請求項 2】

微細ガラスフレークの厚みが 0 . 1 ~ 3 μ m である請求項 1 に記載の液晶性ポリエステル樹脂組成物。

【請求項 3】

さらに（Ａ）液晶性ポリエステル樹脂１００重量部に対し（Ｃ）繊維状無機充填材を５～５０重量部含む請求項１、２のいずれか１つに記載の液晶性ポリエステル樹脂組成物。

【請求項４】

レーザー溶着用樹脂である請求項１～３のいずれか１つに記載の液晶性ポリエステル樹脂組成物。